

令和6年度

事業報告書

学校法人 土浦日本大学学園

## I 法人の概要

### (1) 土浦日本大学学園建学の精神

日本大学の目的および使命に基づき、国家社会の有為な人材を育成する。

#### ※ 日本大学の目的および使命

日本大学は、日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしない、文化の発展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。日本大学は、広く知識を世界にもとめて、深遠な学術を研究し、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。

#### ※ 日本精神

上代における、「明き、浄き、直き誠の心」を源流に、祖国の尊厳に対する強い自覚を根底として広く世界の文化を受容し調和し、改めて創造して自らの文化を高め、世界のうちに自己を伍せしめ自分を立てていく日本人固有の精神をいう。

### (2) 学校法人の沿革

|       |     |  |             |
|-------|-----|--|-------------|
| 昭和26年 | 4月  | 学校法人土浦女子学園                             | 土浦女子高等学校が創立 |
| 昭和38年 | 2月  | 学校法人土浦女子学院と日本大学が準附属契約を締結               |             |
| 昭和38年 | 2月  | 土浦高等学校を設置                              |             |
| 昭和38年 | 3月  | 学校法人土浦女子学院を学校法人土浦学園に改称                 |             |
| 昭和39年 | 7月  | 土浦高等学校を土浦日本大学高等学校に改称                   |             |
| 昭和40年 | 9月  | 土浦日本大学高等学校附属小松台幼稚園（現土浦日本大学高等学校附属幼稚園）開設 |             |
| 昭和49年 | 4月  | 土浦日本大学高等学校岩瀬校舎開設                       |             |
| 平成12年 | 1月  | 学校法人土浦学園を学校法人土浦日本大学学園に名称変更認可           |             |
| 平成13年 | 10月 | 岩瀬日本大学高等学校全日制課程普通科設置認可                 |             |
| 平成14年 | 4月  | 岩瀬日本大学高等学校開校                           |             |
| 平成14年 | 10月 | 土浦日本大学中学校設置認可                          |             |
| 平成15年 | 4月  | 土浦日本大学中学校開校                            |             |
| 平成18年 | 10月 | 土浦日本大学中等教育学校設置認可                       |             |
| 平成19年 | 3月  | 土浦日本大学中学校廃止認可                          |             |
| 平成19年 | 4月  | 土浦日本大学中等教育学校開校                         |             |
| 令和3年  | 2月  | 土浦日本大学高等学校通信制課程普通科認可                   |             |
| 令和3年  | 4月  | 土浦日本大学高等学校通信制課程普通科開校                   |             |
| 令和5年  | 3月  | 土浦日本大学高等学校附属幼稚園が幼稚園型認定こども園に認定          |             |
| 令和5年  | 4月  | 土浦日本大学高等学校附属幼稚園を幼稚園型認定こども園へ移行          |             |

(3) 設置する学校

| 設置する学校          | 開校年月    | 課程・学科            | 備考                  |
|-----------------|---------|------------------|---------------------|
| 土浦日本大学高等学校      | 昭和38年4月 | 全日制普通科           |                     |
| 土浦日本大学高等学校      | 令和3年4月  | 通信制普通科           |                     |
| 岩瀬日本大学高等学校      | 平成14年4月 | 全日制普通科           |                     |
| 土浦日本大学中等教育学校    | 平成19年4月 | (後期課程)<br>全日制普通科 |                     |
| 土浦日本大学高等学校附属幼稚園 | 昭和40年9月 |                  | 令和5年4月幼稚園型認定こども園へ移行 |

(4) 当該学校の入学定員, 生徒数

(令和6年5月1日現在) (単位:人)

| 学校名                 | 入学定員数      | 収容定員数        | 現員数   | 摘要   |
|---------------------|------------|--------------|-------|--|
| 土浦日本大学高等学校<br>全日制   | 630        | 1,890        | 1,838 | 入学定員530人<br>収容定員1,590人から<br>R1年度に変更                                  |
| 土浦日本大学高等学校<br>通信制   | 160        | 480          | 103   | R7.3.31日現在135名   |
| 岩瀬日本大学高等学校          | 200        | 600          | 530   | 入学定員225人<br>収容定員675人から<br>R1年度に変更                                    |
| 土浦日本大学中等教育学校        | 160        | 960          | 862   | 募集定員は H.20 から<br>140名, H27 から 120<br>名, R.4 から 120名+若<br>干名,R5から140名 |
| 土浦日本大学高等学校附属<br>幼稚園 | 80<br>(70) | 240<br>(210) | 139   | R7.3.31日現在152名<br>(下段:利用定員)  |
| 合計                  | —          | —            | 3,472 |  |

(5) 役員概要

定員数 理事 8人以上12人以内 監事 2人以上3人以内

実員数 理事 12人 監事 2人 任期 令和7年定時評議員会終結の時まで

(令和7年5月28日現在)

| 区分       | 氏名    | 常勤・非常勤<br>の別 | 摘要                          |
|----------|-------|--------------|-----------------------------|
| 理事長      | 伊藤 哲弥 | 常勤           | 平成29年4月理事就任<br>令和7年3月理事長就任  |
| 日本大学派遣理事 | 根本 修克 | 非常勤          | 令和3年7月理事就任<br>日本大学工学部長      |
| 日本大学派遣理事 | 谷 龍樹  | 非常勤          | 令和6年1月理事就任<br>日本大学松戸歯学部事務局長 |

| 区分          | 氏名     | 常勤・非常勤の別 | 摘要  |
|-------------|--------|----------|---|
| 常務理事（幼稚園担当） | 伊藤 芳博  | 常勤       | 平成 23 年 4 月理事就任<br>常務理事（幼稚園担当）・土浦日本大学高等学校附属幼稚園長     |
| 理事          | 中島 祥博  | 非常勤      | 平成 26 年 12 月理事就任<br>歯科医                             |
| 理事          | 吉田 正俊  | 非常勤      | 平成 27 年 4 月理事就任<br>前土浦日本大学高等学校校長                    |
| 理事          | 村松 輝美  | 非常勤      | 平成 27 年 5 月理事就任<br>元土浦第一高等学校校長・<br>元土浦日本大学高等学校校長    |
| 理事          | 市村 仁   | 非常勤      | 平成 31 年 4 月理事就任<br>会社員・元土浦第一高等学校校長・<br>元茨城県体育協会専務理事 |
| 理事          | 吉田 邦孝  | 常勤       | 令和 3 年 4 月理事就任<br>岩瀬日本大学高等学校校長                      |
| 理事          | 堀切 浩一  | 常勤       | 令和 3 年 4 月理事就任<br>土浦日本大学中等教育学校校長                    |
| 理事          | 富田 修   | 常勤       | 令和 7 年 3 月理事就任<br>土浦日本大学学園事務局長                      |
| 理事          | 赤松 浩二  | 常勤       | 令和 7 年 3 月理事就任<br>土浦日本大学高等学校校長                      |
| 監事          | 吉村 智明  | 非常勤      | 平成 29 年 7 月監事就任<br>公認会計士                            |
| 監事          | 大久保 和子 | 非常勤      | 令和 4 年 4 月監事就任<br>弁護士                               |

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

| 区分  | 氏名    | 常勤・非常勤の別 | 摘要   |
|-----|-------|----------|--|
| 理事長 | 佐藤 豊  | 常勤       | 平成 18 年 4 月理事就任<br>平成 25 年 3 月理事長就任<br>令和 7 年 3 月 5 日付理事長・<br>理事退任 |
| 理事  | 本多 清二 | 非常勤      | 平成 13 年 6 月理事就任<br>令和 7 年 1 月 10 日付退任                              |

(6) 評議員の概要

定員数 17人以上26人以内 実員数 25人

任期 令和7年度定時評議員会終結の時まで

(令和7年5月28日現在)

| 氏名    | 当初就任年月      | 摘要                  |
|-------|-------------|---------------------|
| 伊藤 哲弥 | 平成 26 年 4 月 | 土浦日本大学学園理事長         |
| 根本 修克 | 令和 3 年 7 月  | 日本大学工学部長            |
| 谷 龍樹  | 令和 6 年 1 月  | 日本大学松戸歯学部事務局長       |
| 伊藤 芳博 | 平成 19 年 6 月 | 土浦日本大学学園常務理事（幼稚園担当） |

| 氏名    | 当初就任年月       | 摘要                              |
|-------|--------------|---------------------------------|
| 中島 祥博 | 平成 26 年 12 月 | 歯科医                             |
| 吉田 正俊 | 平成 25 年 4 月  | 前土浦日本大学高等学校校長                   |
| 村松 輝美 | 平成 27 年 5 月  | 元土浦第一高等学校校長・元土浦日本大学高等学校校長       |
| 市村 仁  | 平成 30 年 10 月 | 会社員・元土浦第一高等学校校<br>・元茨城県体育協会専務理事 |
| 吉田 邦孝 | 令和 3 年 4 月   | 岩瀬日本大学高等学校校長                    |
| 堀切 浩一 | 平成 29 年 6 月  | 土浦日本大学中等教育学校校長                  |
| 富田 修  | 平成 25 年 4 月  | 学校法人土浦日本大学学園事務局長                |
| 赤松 浩二 | 令和 5 年 1 月   | 土浦日本大学高等学校校長                    |
| 佐藤 豊  | 平成 2 年 4 月   | 学校法人土浦日本大学学園最高顧問                |
| 高野 健治 | 平成 26 年 6 月  | 茨城県警                            |
| 相澤 晴夫 | 平成 26 年 12 月 | 会社経営                            |
| 鍵田 二郎 | 平成 27 年 4 月  | 土浦日本大学高等学校事務長                   |
| 小幡 康  | 平成 29 年 12 月 | 公務員                             |
| 小菅 勲  | 令和元年 6 月     | 土浦日本大学高等学校教頭                    |
| 松原 大輔 | 令和 3 年 4 月   | 土浦日本大学中等教育学校副校長                 |
| 小澤 依里 | 令和 4 年 4 月   | 司法書士                            |
| 君山 弘  | 令和 4 年 11 月  | 土浦日本大学高等学校通信制課程教頭               |
| 高橋 智彦 | 令和 5 年 4 月   | 岩瀬日本大学高等学校事務長                   |
| 福原 祐介 | 令和 6 年 9 月   | 土浦日本大学高等学校教頭                    |
| 高松 宜子 | 令和 7 年 3 月   | 土浦日本大学高等学校附属幼稚園園長               |
| 佐藤 豊文 | 令和 7 年 3 月   | 土浦日本大学高等学校副教頭                   |

(7) 教職員の概要

(令和 6 年 5 月 1 日現在) (単位：人)

| 区分 |    | 学校法人 | 土浦日大<br>高 校<br>全 日 制 | 土浦日大<br>高 校<br>通 信 制 | 岩瀬日大<br>高 校 | 中等教育<br>学 校 | 幼稚園 | 計     |
|----|----|------|----------------------|----------------------|-------------|-------------|-----|-------|
| 教員 | 本務 | —    | 1 2 7                | 2                    | 4 2         | 6 9         | 9   | 2 4 9 |
|    | 兼務 | —    | 4 0                  | 1 5                  | 1 1         | 1 2         | 5   | 8 3   |
| 職員 | 本務 | —    | 2 1                  | 1                    | 6           | 7           | 4   | 3 9   |
|    | 兼務 | —    | 2 3                  | 0                    | 1           | 2           | 1   | 2 7   |
| 計  |    |      | 2 1 1                | 1 8                  | 6 0         | 9 0         | 1 9 | 3 9 8 |

(8) その他

学校法人日本大学と準付属校の取扱いに関する契約書を締結している。

## II 施設等の状況

主な施設の状況は次のとおりである。

(令和7年3月31日現在)

| 学校名                 | 所在地        | 施設等     | 面積等<br>(㎡) | 取得価額<br>(千円) | 帳簿価額<br>(千円) | 摘要               |
|---------------------|------------|---------|------------|--------------|--------------|------------------|
| 土浦日大高校<br>(全日制・通信制) | 茨城県土浦市     | 校地      | 24,163.51  | 69,845       | —            |                  |
|                     | 茨城県土浦市     | 校地      | 27,324.00  | 182,739      | —            | 右榎桜グラウンド         |
|                     | 茨城県土浦市     | 校地(借地権) | 6,764.59   | 389          | —            | 右榎桜グラウンド一部賃借     |
|                     | 茨城県土浦市     | 校地      | 2,705.71   | 167,000      | —            | 寄宿舎              |
|                     | 茨城県土浦市     | 校地      | 1,787.00   | 3,200        | —            | 寄宿舎              |
|                     | 茨城県土浦市     | 校地(借地権) | 1,764.00   | 10,581       | —            | 寄宿舎              |
|                     | 茨城県かすみがうら市 | 校地      | 47,179.18  | 172,396      | —            | 寄宿舎・かすみがうら桜グラウンド |
|                     | 長野県北佐久郡立科町 | 校地(借地権) | 5,021.50   | 22,239       | —            | 蓼科林間学園           |
|                     | 茨城県土浦市     | 校舎      | 16,752.99  | 4,082,636    | 1,346,065    | 小松ヶ丘町            |
|                     | 茨城県土浦市     | 校舎      | 1,082.16   | 266,412      | 214,715      | 右榎               |
|                     | 茨城県土浦市     | 体育館     | 7,222.97   | 1,216,628    | 367,347      |                  |
|                     | 茨城県土浦市     | 寄宿舎     | 5,712.5    | 981,524      | 420,763      |                  |
|                     | 茨城県かすみがうら市 | 寄宿舎     | 1,847.67   | 330,283      | 70,205       |                  |
| 岩瀬日大高校              | 茨城県桜川市     | 校地      | 55,264.65  | 252,935      | —            |                  |
|                     | 茨城県桜川市     | 校舎      | 6,873.62   | 1,895,180    | 571,817      |                  |
|                     | 茨城県桜川市     | 体育館     | 2,160.05   |              |              |                  |
|                     | 茨城県桜川市     | 校舎      | 2,569.22   | 410,762      | 231,774      |                  |
| 中等教育学校              | 茨城県土浦市     | 校地      | 14,388.17  | 410,004      | —            |                  |
|                     | 茨城県かすみがうら市 | 校地      | 36,196.82  | 132,463      | —            |                  |
|                     | 長野県北佐久郡立科町 | 校地(借地権) | 13,976.44  | 61,884       | —            | 蓼科林間学園           |
|                     | 茨城県土浦市     | 校舎      | 9,929.33   | 1,743,798    | 752,102      |                  |
|                     | 茨城県土浦市     | 体育館     | 1,216.00   | 176,239      | 75,397       |                  |
|                     | 長野県北佐久郡立科町 | 蓼科林間学園  | 2,266.81   | 331,623      | 54,262       |                  |
| 幼稚園                 | 茨城県土浦市     | 園地      | 2,807.39   | 24,000       | —            |                  |
|                     | 茨城県土浦市     | 駐車場用地   | 672.01     | 14,100       | —            |                  |
|                     | 茨城県土浦市     | 園舎      | 1,326.78   | 264,018      | 98,153       |                  |

|        |    |                          |              |
|--------|----|--------------------------|--------------|
| 【主な増減】 | 増加 | 土浦日本大学高等学校全日制柔剣道場等空調設置   | 20,103,742 円 |
|        |    | 土浦日本大学中等教育学校教室 UD 黒板設置   | 8,016,914 円  |
|        |    | 土浦日本大学中等教育学校5階カフェテリア改修工事 | 13,180,687 円 |
|        |    | 土浦日本大学中等教育学校教室改修工事       | 5,814,456 円  |

以上

## 2 事業の概要

### 部門: 学校法人

| 事業項目          | 事業内容  |
|---------------|---|
| 令和6年度<br>事業概要 | ① 理事会の実施(第1回 5/30, 第2回 9/12, 第3回 12/11, 第4回 2/3, 第5回 3/1, 第6回 3/31)<br>② 評議員会の実施(第1回 5/30, 第2回 12/11, 第3回 3/31)<br>③ 第26回理事長主催講演会の実施<br>④ 私立学校法改正に伴う寄付行為変更, それに伴う諸規程の整備 |

### 部門: 土浦日本大学高等学校

| 事業項目          | 事業内容   |
|---------------|--|
| 令和6年度<br>事業概要 | 創立61年目を迎え, 大学の付属高校, 茨城県をリードする進学校, 県下一のスポーツ強豪校, 国際化グローバル推進校というそれぞれの側面が目的に応じた取り組みを行うことで, 充実した教育活動が実施できた。学習面においては, 全教室に黒板投影型プロジェクターを設置したことで, ICT教育における指導の充実と効率化が図られた。また, 日々の授業や小テストによる基礎基本の徹底, 探究学習による思考力と表現力の強化など, 日本大学基礎学力到達度テストおよび大学入学共通テストへの対策が行われた。その結果, 付属推薦による日本大学への合格, 国公立大医学部をはじめとした最難関大学への合格, 学校型選抜試験を活用した筑波大学・茨城大学への合格, 海外大学への合格など, 高い進路実績を残すことができた。今後, 特別進学コース私大文系クラスとGSコース理系クラスの設置により, 生徒の目的に応じた進路指導をより充実させることが期待される。生活面においては, 引き続き生徒の個性を尊重した指導に努め, いじめ発生件数は0件であった。部活動においては, バスケットボール部やバレーボール部, 剣道部など, 数多くの部活動で全国大会・関東大会出場以上の輝かしい成果を上げた。 |
| 学習指導          | 令和6年度より, 全学年が新学習指導要領に基づいたカリキュラムによる授業と評価の対象となった。これに伴い, 3年間を見据えた指導計画の共通理解が進み, 指導体制が充実した。また, 全教室に黒板投影型プロジェクターを導入したことで, ICTを活用した指導がより一層発展した。この他にも, 英語力強化による検定試験の取得率向上, 日本大学基礎学力テストと大学入学共通テストを踏まえた定期テストの作成や, 国公立大2次試験対策としてのハイレベルな課外授業の実施, 学校推薦型選抜への論述指導や面接指導など, 進路に直接的に結びつくような学習指導を実践することで, 教員の指導力強化が図られた。  |
| 進路指導          | 日本大学推薦入試において課される「日本大学基礎学力到達度テスト」への対策として, 春季および秋季の対策模試や特別講座を実施することにより, 日本大学への合格者増につなげた。<br><br>日本大学の付属校であることの利点を最大限に活かし, 日本大学の各学部から教授を招聘して出張講義(模擬授業)を開催するなど, 高大一貫教育に力を注いだ。国公立大学への合格者を増やすべく, 東大課外や筑波大推薦対策指導の充実, 実用技能英語検定(英検)などの資格取得促進に努めた。教員研修の一環として, 大学や予備校主催の説明会に教員を参加させることにより, 進路指導力の向上を図った。  |
| 国際化教育         | グローバルスタディーコースのオーストラリア短期留学・カナダ中期留学の継続実施に加えて, 海外修学旅行(オーストラリア)とハワイ英語研修, 日本大学によるケンブリッジ大学イースタープログラムへの生徒派遣など, 国際化に向けた体験的な学びを実施した。また, 校内においてもJICA講演会・国際社会人講演会など, 国際人として必要な資質を学ぶ機会を持った。これらの取り組みに加え, GSコースに理系クラスが設置されたことで, 理系生徒の海外志向を高めるための教育がスタートした。   |

|  |   |
|--|---|
| <p>学校生活</p> <p>生徒指導</p> <p>いじめ対策</p> <p>教育相談</p> <p>部活動</p> <p>防災(庶務)</p> <p>行事等</p> | <p>「あいさつの励行」、「端正な服装頭髪の徹底」、「社会のルールやマナーの遵守」、「いじめの根絶」を主要目標として取り組んだ。多様なバックグラウンドをもつ生徒がいる中で、教育相談部と連携を取りながら、生徒の実情を理解・共有した指導を展開した。</p> <p>「土浦日本大学高等学校いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめ防止対策室が中心となり、迅速に諸案件に対応した。教員に対しては、生徒の情報はもとより、学内外のケーススタディ等を教職員会議において定期的な情報提供がなされた。また、生徒に対しては、アンケート・講話の実施など学内のいじめ防止および早期発見に積極的に取り組んだ。それらの結果、令和6年度のいじめ発生件数は0件であった。</p> <p>教育相談部を中心に、常駐のスクールカウンセラーと共に生徒・保護者等に対応した。新入生ガイダンス・エゴグラム(性格検査)を行うとともに、全生徒に対して学校不適応調査を年6回実施し、実態把握・生徒理解に努め、担任・学年と連携して不適応生徒に即応した。</p> <p>茨城県総合体育大会で男子は4年連続で優勝した。男子バスケットボール部の国民スポーツ大会準優勝を始め、男女バスケットボール部、男子バレーボール部、柔道部、剣道部、レスリング部、陸上部のインターハイ出場など、華々しい成果を上げた。また、音楽部の全国大会出場など、文化部においても部活動の活性化が進んだ。</p> <p>全校による避難訓練を年3回実施した。緊急事態に対応できるよう、防災マニュアルを一部改訂するとともに、教員へのマニュアル共有を図った。また、これまでと同様に全生徒分の防災グッズの備蓄を継続した。</p> <p>生徒が主体となって自主的な活動を行う機会が増え、多くの生徒がボランティア活動に参加した。また、これらの活動を通して他校との交流が活発に行われるなど、校内外での連携が強化された。</p> |
| <p>入試広報(入試)</p>  | <p>本校の教育方針、多様なカリキュラムの詳細がわかる学校案内を作成し、ホームページやSNSを利用して、学校行事や部活動の活動実績を広く紹介した。また、オープンスクール等の申込時に得た情報を管理し、学習塾の訪問等の積極的な広報活動を行った。</p> <p>本校入試における併願5教科入試について、更なる定着を図るために本校受験の付加価値について正しく情報発信を行い、真の実力が測れる試験として周知徹底されるように広報活動を行った。また、WEB出願の際に得られた情報を管理し、地域別増減や通塾状況等の分析を行い、焦点を絞った効果的な広報活動を心掛けた。</p> <p>参加型の学校見学会やコース説明会、部活動体験会を実施し、本校について体験的に理解を深めてもらう機会を強化した。特に、GSコース理系クラスと特別進学コース私大文系クラスの設置に伴い、各クラスの特徴を積極的に広報することで、目的意識を持った受験生・入学生の確保につなげた。</p> <p>従来型の受験学力に加えて、英語4技能や調査書を点数化した評価など、新たに大学入試で求められる評価基準を採用する高校が増えている。本校入試においても、複数回受験や推薦基準の見直しなど、受験生確保に向けた検討を進めていく。</p>  |

|                           |   |
|---------------------------|---|
| <p>施設設備</p>               | <p>体育の授業・部活動等で熱中症事故ゼロを目指し、総合体育館柔剣道場への冷暖房設備を設置した。また、本館2階の普通教室で機能低下がある一部冷房機器の取替更新を行い、生徒の学習環境を整備した。</p> <p>平成24年度に全教室に配置した現行プロジェクターが、耐用年数を大幅に経過し、故障頻度、解像度の低下、ipadとの接続などの問題が生じていたため、全面的な取替更新を行った。その結果、スクリーンを必要とせず、黒板に明瞭に投影されるため、グラフや図表、問題文等を投影した上に板書する新たな教育スタイルを確立することができた。これにより、生徒の分析力、授業理解・授業進捗等の向上が期待される。</p> <p>硬式野球部生徒送迎用に大型バスを一台購入し、日々の登下校のみならず大会や練習試合の送迎も可能となった。また、利用していた小型バスを通信制課程生徒の送迎、全日制課程の部活動で利用し、活動の幅を広げた。</p> <p>物価高、電気料金高騰が続くなか、こまめな教室や廊下の電気消灯など省エネ対策を行い、教育の充実が図れるよう努めた。</p> |
| <p>運営・管理</p>              | <p>学校自己点検評価および外部評価を行い、教育活動の成果を検証することで学校運営の改善につなげた。また、年齢層、役職別の研修や教員全体での研修を実施することで、それぞれ高い意識を持って職務遂行ができるように努めた。</p>  |
| <p>保護者と教師の会・同窓会・地域活動等</p> | <p>ホームカミングデー、教育関係者懇談会(桜華会)を実施した。また、同窓会についても役員会等を計画通りに実施することができた。今後も卒業生と本校との交流の場を作ることで、卒業生のネットワークを活かした生徒募集基盤の確立につなげていきたい。</p> <p>昨年度に引き続き、桜華祭(文化祭)への保護者参加、保護者音楽鑑賞会「コスモスのしらべ」、父母と教師の会研修旅行を実施した。今後もこれらの活動を継続し、保護者交流の場を提供していく。</p> <p>コロナ禍をきっかけに多くの行事が新しい実施形態を取るようになった。しかし、依然として精査が必要な行事は多く、引き続き適切な学校行事となるよう検討を進めていく。実施にあたっては、生徒・保護者の安心・安全を第一に考えて計画していく。</p>  |

部門: 土浦日本大学高等学校通信制課程

| 事業項目          | 事業内容  |
|---------------|---|
| 令和6年度<br>事業概要 | <p>生徒の進路目標に即したコース(進学、通学、一般、スポーツ・芸術)を設置し、日本大学進学を軸に、国公立大学を含む大学進学を目指して進路指導の充実を図った。また、生徒によっては専門学校、就職と多様なニーズがあり、きめ細やかな個別指導体制で取り組んだ。普段の授業においても校舎の施設や全日制施設の活用を図り、集中スクーリングや授業がスムーズに展開できた。</p> <p>年度途中の転籍・転入生や令和7年度新入生のさらなる増加を目指し、進路相談会(11回実施)、個別相談会や中学、高校への訪問、HP等により、充実した指導体制や進路実績等を発信することで、転籍・転学生徒の確保につなげた。</p> <p>学校生活の充実を目指して従来の行事に加え、本年度初の宿泊学習(1泊2日 蓼科林間学園)、ボランティア活動(大洗サンビーチ)、全日制行事への参加等を計画的に推進できたことは、道徳的な意識の向上を育み、人間性の育成や生徒間の親睦を深める素晴らしい機会となった。</p> <p>また、様々な競技に取り組む生徒には、学習指導と並行して個々の競技へ取り組むための支援を継続し、特に、草木ひなの選手によるパリオリンピック8位入賞の偉業を達成した。</p> |
| 学習指導          | <p>生徒の進路目標に対して4コース(進学、通学、一般、スポーツ・芸術)の特色を活かした学習指導を実践した。また、面談等を通して生徒個々の目標進路をしっかりと把握し、目標に適した指導に取り組んだ。特に、大学、専門学校を志望する生徒には対策講座、家庭学習の充実を図り、就職を志望する生徒には担任が寄り添った助言をするなど、個に即した指導を展開した。また、様々な競技に取り組む生徒には、個々の競技への支援と並行して学習指導を充実した。進学コース・通学コースについては週3日間の授業(オンラインあり)により実力の向上を図った。</p> <p>学習指導や面談を通してコミュニケーションを図ることで、生徒個々の学習に対する進捗状況を把握しながら、生徒の目標進路が達成できる指導・支援につなげた。学校に通学できない生徒に対しては授業のライブ配信を活用するなど、個々に適した内容で、学習が進められる指導を実践できた。</p>   |
| 進路指導          | <p>進学コースでは日本大学や他大学受験を念頭に、特別編成授業(春・秋)、全日制と連携した日本大学教授による出張講義(模擬授業)を実施することで、学習習得の効率化やモチベーションの向上を図り、生徒が自身の適性を見極めて将来の職業選択について考察する機会につながった。</p> <p>本年度は日本大学内部推薦試験にて文理学部2名、経済学部2名、商学部、法学部、国際関係学部、生物資源科学部に8名が進学している。その他2名が一般受験により合格しており、日大への合格者は計10名となった。茨城大学農学部1名が合格した。その他、駒澤、立正、共立女子等を含め私立大学23大学、専門学校9校に合格者を輩出した。また、6名が就職している。</p> <p>生徒の進路は大学進学、専門学校進学、就職や高校卒業資格取得を目指すなど多様な目標があり、個々のニーズに適した個別の進路指導を実践した。</p>   |
| 国際化教育         | <p>本年度は外国文化に触れる海外修学旅行等の行事は計画していないが、宿泊学習における富岡製糸場見学を通して諸外国との関りを体験できた。次年度は生徒の意欲等を把握しながら、実施可能な国際化教育を計画する。</p>  |
| 学校生活          | <p>社会人として一般常識を身に付けることを主眼に生徒指導に取り組んだ。そのなかで、生徒の個性や人権に配慮した生徒指導を実践した。</p> <p>「土浦日本大学高等学校いじめ防止基本方針」に基づいて全日制課程で設置しているいじめ防止対策室との連携やいじめアンケート等の実施及び結果の活用により、学内のいじめ防止および早期発見に取り組んだ。結果として、いじめに関しては「該当事例無し」であった。</p> <p>全日制課程に常駐するスクールカウンセラーと協働して生徒・保護者等の悩みに対応した。また、教育相談アンケートを実施するなど、生徒理解に努め、学校全体で課題を抱える生徒に即応した。</p>  |

|           |   |
|-----------|---|
| 部活動       | 本課程での部活動は現在実施していないが、スポーツ・芸術コースの草木ひなの選手がスケートボードパークでパリオリンピック8位入賞を果たし、大きな反響を呼んだ。その他、スポーツに積極的取り組んでいる生徒も各競技で充実した競技実績を残すことができた。   |
| 防災(庶務)    | 迅速に緊急事態に対応できるように右叡桜キャンパスで防災訓練を実施することで、生徒の防災意識の向上につながった。   |
| 行事等       | ①秩序ある団体行動、規範意識、社会性を身に付ける。②生徒相互の交流による協調性と人間性の向上を目的とした宿泊学習(5月、蓼科林間学園)、校外学習(10月、ひたち海浜公園、大洗水族館)に多くの生徒が参加した。また、特別授業、ボランティア活動、大学模擬授業、各種講演会を全日制と協働して実施した。多岐に渡る学校行事の充実は生徒の愛校心の育成や級友との親睦につながった。次年度には修学旅行を企画、実施したい。   |
| 入試広報(入試)  | 進路相談会(12回)において全体説明や個別相談により本校の特色を発信できた。また、茨城県や近隣の中学校・高等学校を訪問し、本校の特色を周知した。日本大学を含めた大学合格実績や生徒に対する支援体制、学校行事などをHPや訪問等で発信することで、本校への興味・関心が高まった。結果として、転入転籍生徒は増加となったが、新入生徒数が伸び悩んでおり、学校が苦手な生徒にも魅力的な支援体制を構築し、発信することで新入生徒の増加につなげたい。  |
| 施設設備      | 前年度の新校舎増築それに伴う設備の整備により授業、夏季・冬季集中スクーリングの展開が格段に改善され、利便性が向上した。普通教室の可動間仕切り等を利用し、生徒の個々の履修状況に応じた少人数授業や個別面談、自習室としての活用柔軟に対応できることで、生徒における学習環境の改善につながった。また、引き続きICT設備を活用した教育活動を充実するため、教員用ipad等の整備を行った。<br>本年度より岩瀬日大高校を活用したスクーリングを展開し、利便性の向上に努めた。また、土浦日本大学高等学校全日制課程との連携を強化し、全日制校舎でのスクーリング実施を充実させた。<br>全日制野球部で利用していた小型バスが、大型バスの購入により通信制課程送迎で活用できるようになり、通信制課程生徒送迎をより充実して行える体制を整備した。 |
| 運営・管理     | 学校自己点検評価および外部評価を実施し、校務活動に活かして運営した。  |
| 保護者・地域活動等 | 保護者と学校が一体となって生徒の学習が充実するように、レポート提出、スクーリングの状況を保護者へ適時連絡して共通理解を図ることで、生徒に適切な指導・支援が展開できた。   |

部門：岩瀬日本大学高等学校

| 事業項目          | 事業内容  |
|---------------|---|
| 令和6年度<br>事業概要 | <p>「学力の向上，学校生活の充実，進路実現，入学者の確保」の4本柱のもとに様々な事業を実施した。</p> <p>全学年で実施される新学習指導要領に沿った学習指導と学習評価の振り返りを行い，授業改善を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され，生徒・教職員・保護者三者の関係を再構築し，更なる改善を図った。</p>   |
| 学習指導          | <p>1. 学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学習手帳を購入させ，生徒のPDCAサイクル確立させた。</li> <li>②通年の課外学習，夏期課外，冬期課外を実施した。</li> <li>③蓼科サマースクールを実施した。</li> <li>④定期考査前学習指導会を実施した。</li> <li>⑤習熟度別授業を実施した。</li> <li>⑥8月後半より授業を開始した。<br/>(3年は到達度テストまで対策授業を行った)</li> <li>⑦授業担当者会議を実施した。</li> <li>⑧SDGsをテーマとした1・2年の総合的な探究授業を行った。</li> <li>⑨駿台サテネット等映像講座を活用した学習支援を実施した。</li> </ul> <p>2. 教員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①全教員研修会を実施した。</li> <li>②ICT教育のスキル養成研修を実施した。</li> <li>③授業参観ウィークを実施した。</li> </ul> <p>3. 高大連携，入試改革に沿った特色ある教育作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ICT教育活用推進委員会を設置した。</li> <li>②主体的な活動を促す学習プログラムを研究した。</li> </ul> |
| 進路指導          | <p>1. キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①進路オリエンテーションを実施した。</li> <li>②進路シンポジウムを実施した。</li> <li>③「オープンキャンパスへの歩き方」(事後レポート作成)を実施した。</li> <li>④進路講演会，卒業生講演会を実施した。</li> <li>⑤就職希望者ガイダンスを実施した。</li> <li>⑥大学等出張講義を実施した。</li> </ul> <p>2. 進学指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①日本大学学部説明会を実施した。</li> <li>②保護者会(進路関係)を実施した。</li> </ul> <p>3. 卒業前，入学前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①卒業前教育(在校生)，入学前教育(入学予定者)を実施した。</li> <li>②受験報告会を実施した。</li> </ul>  |
| 国際化教育         | <p>1. 国際理解教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①オーストラリア(ケアンズ)修学旅行を実施した。</li> <li>②ハワイ英語研修に希望者が参加した。</li> <li>③サマープログラム(ケンブリッジ)に参加した。<br/>イースタープログラム(ケンブリッジ)は参加希望者がいなかった。</li> <li>④JICA主催研修会に希望者が参加した。</li> <li>⑤国際交流オンライン課題学習は実施していない。</li> </ul>  |

|             |   |
|-------------|---|
| <p>学校生活</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な生活習慣の確立       <ol style="list-style-type: none"> <li>①通学路や校門での通学指導を実施した。</li> </ol> </li> <li>2. 安全教育       <ol style="list-style-type: none"> <li>①スクールバス乗車指導会を実施した。</li> <li>②インターネット安全教室を実施した。</li> <li>③薬物乱用防止教室を実施した。</li> <li>④いのちの教育（性と生）を実施した。</li> <li>⑤交通講話（自転車ヘルメット着用も含む）を実施した。</li> </ol> </li> <li>3. いじめ防止対策       <ol style="list-style-type: none"> <li>①いじめアンケート調査を実施した。</li> <li>②いじめ防止対策室会議を定期開催した。</li> <li>③いじめ防止対策研修会は実施していない。</li> </ol> </li> <li>4. 教育相談       <ol style="list-style-type: none"> <li>①外部カウンセラー来校日を設定した。</li> </ol> </li> <li>5. 部活動の活性化       <ol style="list-style-type: none"> <li>①強化指定クラブを設定し、部活動の活性化を図った。</li> </ol> </li> <li>6. 防災教育       <ol style="list-style-type: none"> <li>①避難方法，避難経路の点検・見直しを行った。</li> <li>②年2回の避難訓練を実施した。</li> <li>③防災集会を実施した。</li> <li>④保健体育の授業で普通救命講習会を実施した。</li> <li>⑤学校危機管理マニュアル研修会を実施した。</li> </ol> </li> </ol> |
| <p>入試広報</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒募集       <ol style="list-style-type: none"> <li>①中学校一斉訪問を実施した。</li> <li>②中学生対象学校見学会（オープンスクール）を実施した。<br/>※週末だけでなく，平日も実施した。</li> <li>③塾対象説明会・保護者対象説明会を実施した。</li> <li>④合格者対象の個別相談会を実施した。</li> <li>⑤特技推薦の積極的な募集を行った。</li> <li>⑥入試担当者による地区割の広報活動を行った。</li> <li>⑦推薦入学者の志願数を増やす施策を検討した。</li> <li>⑧中学2年生対象の学校見学会を実施した。</li> </ol> </li> <li>2. 広報       <ol style="list-style-type: none"> <li>①HP・保護者専用ページの充実させた。</li> <li>②広報誌（岩日だより）を発行した。</li> <li>③HPや動画コンテンツの更なる充実を図った。</li> <li>④SNSによる情報発信をした。</li> <li>⑤SNS広告(地域・年齢層を絞った年4回のイベント案内)配信をした。</li> <li>⑥LINE公式アカウントによるメルマガ配信をした。</li> </ol> </li> <li>3. 入学者・入学予定者指導       <ol style="list-style-type: none"> <li>①入学前教育教材を配布した。</li> <li>②入学予定者学習会を実施した。</li> <li>③特別進学コースの説明会を実施した。</li> </ol> </li> </ol>   |
| <p>施設設備</p> | <p>築30年以上を経過した老朽施設が複数存在するため，今後資金の留保を行いながら施設設備の更新を順次行う計画の中，令和6年度は，D棟教室の黒板貼替工事やエアコンの一部更新等，現状の施設を修繕，改良しながら教育活動を行った。</p>  |

|                           |  |
|---------------------------|--|
| <p>運営・管理</p>              | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業・高校生活           <ol style="list-style-type: none"> <li>①授業アンケート調査（生徒対象）を実施した。</li> <li>②高校生活アンケート調査（生徒対象）を実施した。</li> </ol> </li> <li>2. 学校自己評価           <ol style="list-style-type: none"> <li>①学校自己点検・教員自己評価アンケート（教員対象）を実施した。</li> </ol> </li> <li>3. 外部評価           <ol style="list-style-type: none"> <li>①外部評価委員会を開催した。</li> <li>②評価結果をホームページにて公表した。</li> </ol> </li> <li>4. 校務分掌内規の再考と整理           <ol style="list-style-type: none"> <li>①現代に合わない古い規定やあいまいな部分を再考し、内規集として文章化作業を継続した。</li> <li>②委員会・部活動組織の合理化と見直しをした。</li> </ol> </li> <li>5. ペーパーレス化の推進           <ol style="list-style-type: none"> <li>①職員会議等資料のペーパーレス化を推進した。</li> </ol> </li> </ol> |
| <p>保護者と教師の会・同窓会・地域活動等</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 父母と教師の会等活動           <ol style="list-style-type: none"> <li>①各支部総会を実施した。</li> <li>②父母と教師の会等総会を実施した。</li> <li>③成人教育研修を実施した。</li> <li>④広報誌（櫻真）を発行した（2回）。</li> <li>⑤登校指導を実施した。</li> </ol> </li> <li>2. 同窓会活動           <ol style="list-style-type: none"> <li>①新入生へ校歌CDを配付した。</li> </ol> </li> <li>3. 地域活動           <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域自治体や商工会と連携し、地域おこしイベントや事業への協力を行った。</li> <li>②指定緊急避難場所としての防災訓練を実施した。</li> </ol> </li> </ol>  |

部門:土浦日本大学中等教育学校

| 事業項目          | 事業内容   |
|---------------|--|
| 令和6年度<br>事業概要 | <p>県内初の中等教育学校として、6年間完全一貫性のメリットを生かして、多様な教育活動を実践していく。新たな教育の指針である、卓越性、読み解く力、相互依存をつけるための様々な事業を生徒活躍担当、先進教育担当、情報入室の3副教頭の実務統括のもと展開していった。今後20年間を見据えた先進的な教育を模索するとともに、進路実現により一層力を入れることが出来る体制の構築を図った。さらに、生徒が主体的に学習に取り組むことが出来る様々な行事を盛り込むことで、発達段階に応じた積極的な探究活動、表現活動を行えるように導いた。</p>   |
| 学習指導          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話型の授業を中心に据えつつ、ゼミ活動や課外授業の充実を図るとともに、コロナ禍で構築したICTの環境を生かしつつGoogleClassroomなどを活用した学習活動も併用していった。</li> <li>・課外活動については、従来以上に受験指導と探究活動など幅広い活動を準備することで、発達段階に応じ、生徒たちが主体的に参加できる仕組みを作り上げた。さらに、進路実現のために、学習に困難を感じている生徒に対しても最後までフォローを行い、日本大学にしっかりと進学できる基礎学力の定着を図った。</li> <li>・新しい評価基準を構築するとともに、スムーズに新しい評価基準が適用できるように、教員全体への意識の改革を研修を通じて引き続き行い、思考力、判断力、表現力の育成に努めた。</li> <li>・令和6年度は、東大を目標とする生徒がほぼいなく、中堅国立やGMARCHを対象とした学習指導と進路指導を密接にした指導を行った。</li> <li>・副教頭を中心とした実務直結の教科主任会議を構築し、教育改革に対応するだけでなく、今後の教育を見越した先進的な教育の実現に各教科で取り組める体制を作った。</li> <li>・最難関大学、海外大学、日本大学の三本柱をしっかりと内外に示すことが出来る実績をつくるため、先進教育担当副教頭を中心に組織的に学校全体で取り組める体制づくりが行われた。</li> </ul>   |
| 進路指導          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の課外活動だけでなく、6年生に対して夏休みの合宿を行うなど学年全体の意識改革を行い、日本大学を皮切りに進路実現に向けての取り組みを行った。最難関大学については、私立大学では成功裏に終わったが、国立大学については中堅国立大学にとどまり、抜本的な改革を通じて最難関大学合格実現に向けて再度体制を立て直しが急務となった。</li> <li>・日本大学への進路では、生徒の目標、将来設計に応じた進路指導を行うことができた。今後も、基礎学力到達度テストだけでなく面接や評定なども含めた日頃の地道な指導を学年、教務、進路が協力して実施することで、希望者全員の希望学科への入学を目指していく。</li> <li>・海外入試については、9月のアメリカの大学進学希望者がいるのみで、結果はまだ出ていない。令和7年度からはじまるオーストラリア研修を活かして、前期課程の内から海外への意識をしっかりとつくり、海外大学への進学を意識できるように、生徒だけでなく保護者に対しての新たな海外向け進路指導の構築がはじまった。</li> </ul>   |
| 国際化教育         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度には海外研修を実施し、おおきな成果を得ることが出来た。国際情勢などをにらみ、日数や研修場所を選定し、生徒がしっかりと探究活動に取り組むことが出来る素地を作った。</li> <li>・OCの教員による様々な取り組みにより、海外についての知識と興味関心を引き出している。特に令和4年度から実施されているEnglishFateを皮切りに、より一層英語に興味関心を持つことが出来る取り組みが発展していった。</li> </ul>  |
| 学校生活          | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに学校安全計画・生徒指導計画を立ていじめ対策についても前期課程と後期課程の発達段階の差に配慮しつつ、学年保護者会や外部評価委員会などにより保護者との共有を図った。コロナ以来、前期課程での欠席が微増しており人間関係などの悩みが絡んでいないか確認をし、いじめの早期対策を行い、改善を図った。</li> </ul> </li> <li>いじめ対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対策については、年2回保護者へのアンケート、年3回生徒へのアンケートを行い、何らかの訴えが見られた場合すぐに学年で対応を行い、その結果をフィードバックする体制が構築されている。いじめ問題の原因が定式化している現状から、事前にしっかりとした情報提供を図ることで、いじめが起きる前に対応できる指導體制を構築しているが、家庭環境の問題など複雑な社会情勢のなか、生徒を取り巻く人間関係の安定のための対策を構築していく方向で調整を始めている。</li> </ul> </li> <li>教育相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長欠生徒だけにとどまらず、生活習慣や学習上の問題がある場合、学年が主導し、必要があれば、生徒指導部、保健室、カウンセラーと連携をとっていく。カウンセリングにおいては、生徒だけでなく、保護者や教職員も利用しやすい環境作りを行っていった。</li> </ul> </li> <li>部活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期課程の参加率を引き続き向上させ、生徒の居場所づくりに努め、本校への帰属意識を高めた。運動部だけでなく文化部の活動も活発に行い、ゼミ活動も含めて様々な生徒の居場所づくりに努めた。</li> </ul> </li> <li>防災 <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練と共に、緊急連絡とも連動させたネット時代の実践的な訓練を実施し、生徒たちの安全な学校生活を担保した。また、地域奉仕活動の一環として、学校付近の安全マップ作りなどを通じて、生徒自身に安全に対する意識を高めた。教職員は、防犯講座などを通じて不審者対応及び緊急事態に瞬時に対応できる体制の構築を図った。</li> </ul> </li> </ul> |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 入試広報               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験生が1,000名を越える状況に対応し、しっかりと学習指導、生活指導、進路指導を行っている学校の様子を伝えていくことで、さらに優秀な生徒の確保に努めた。</li> <li>・特待生などをしっかりと選別することで、優秀な生徒を確保し、学校全体で生徒の指導に当たることが出来る体制を構築していった。</li> <li>・TX沿線、常磐線沿線、県西地区など地域により私学へ希望する内容が異なるため、適材適所に戦略を変えつつも、本校の良さを多面的に伝えることができる広報活動を展開する必要があるが見られた。特に、塾の先生方との信頼関係の必要性を感じられた結果となった。</li> <li>・入試を精査し、本校に求める多様な教育に対応した体制を構築していき、多様な学びを通じて中学受験に臨む児童に対して、多面的に能力を判断し、単に受験時点の学力だけでなく非認知能力なども見抜くよう工夫を行っていった。</li> </ul> |
| 施設設備               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒増に伴い、教室等の基礎的な施設について今年度も継続的な見直しを図り、2階小教室を普通教室へ改修したほか、5階カフェテリアの改修も行い、多目的な学習スペースを確保した。</li> <li>・普通教室等にプロジェクターを設置するとともに、黒板のリニューアル工事を実施し、効率的な授業が展開できる環境整備を行った。</li> <li>・理系インターの研究活動の増加に伴い、実験機器の充実に努め、通常クラスにも援用できる体制を構築した。</li> <li>・日頃から丁寧な施設の使用を心掛けると共に、節電等の意識を高めた。</li> </ul>  |
| 運営・管理              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職側と主任の連携を深めることで、学校長の学校経営指針がしっかりと全教職員へ伝わるようになった。</li> <li>・新任研修など研修の機会を定常的に設け、情報の共有だけでなく、組織としての意思統一を測ることが出来たが、その一方で中堅教職員の意識改革の必要性も浮き彫りになった。</li> <li>・教職員全体が、研修の機会をしっかりと設けるとともに、高い意識と教師としての矜持をもって生徒と向かい合うことができる意識の改革に努めた。</li> </ul>   |
| 保護者と教師の会・同窓会・地域活動等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と教師の会の運営においては、地区会において今年度はより一層保護者の団結を目指し、保護者による広報活動へとつなげていくことができた。</li> <li>・学年の活動と地区会の活動を進めながら、縦と横のつながりを強化することで、より一層発展した組織を構築していく必要性が望まれる結果となった。</li> <li>・地域奉仕活動においては、桜川の清掃、通学路清掃などを行うことで地域への愛着とともに奉仕の精神を育てることが出来た。今後は、多面的な地域奉仕活動を目標にボランティア活動をより発展できるよう計画していくよう十分に時間を設けた計画の立案の必要性が見られた。</li> <li>・同窓会の在り方を組織的に発展させていくために、ICTの活用も含めて計画を立てていった。</li> </ul>  |

部門:土浦日本大学高等学校附属幼稚園

| 事業項目                               | 事業内容   |
|------------------------------------|--|
| 令和6年度<br>事業概要                      | <p>教育・保育の質を確保するため、経験豊富な教員をバランスよく配置し、園児の健やかな発達に適した環境を提供することができた。</p> <p>ICTシステムを活用し、園だより・行事等の園の様子を紙ベースから一斉配信に変更。保護者と園双方の利便性を高めた。</p> <p>2歳児対象の親子教室を年間15回行い、園児募集基盤の確立及び幼児の成長を支援した。</p> <p>1階廊下・階段のタイルカーペットの張替え工事及び昇降口前柱の塗装工事を行い、保育環境を整備した。</p>   |
| 保育指導                               | <p>日々の保育を通し、身体、心、考える力の調和のとれた豊かな成長を促すことができた。</p> <p>茨私幼連研修会等外部研修会への参加及び、園内研修を積極的に行い保育の質の向上・指導力向上を図った。</p>   |
| 特色ある教育                             | <p>中等教育学校の教員(ネイティブ)による英語教育を継続し、年齢に応じたゲームやリズム遊びを通して、楽しみながら英語に慣れ親しんだ。</p> <p>本や紙芝居の読み聞かせを通して集中して取り組む姿勢を育てることができた。</p> <p>年齢別にワークブックを使用し、数字や文字、言葉の基礎を楽しみながら学ぶことができた。</p> <p>4歳児・5歳児に鍵盤ハーモニカの基礎から簡単な童謡の吹奏指導を行った。</p> <p>縄跳び、跳び箱、マット、鉄棒等、ゲームを交えながら運動の基本を指導し、体力作りを行った。</p> <p>5歳児に習字を行い就学前の集中力を培った。</p> <p>希望者に対し預り保育を実施し、多様化する保護者のニーズに応えた。</p>                    |
| 生徒の生活<br>生徒指導<br>教育相談<br>防災<br>行事等 | <p>遊びを通して友達への思いやりや互いに協力する姿勢、落ち着いて物事に取り組み集中力を養い育てることができた。</p> <p>保護者の希望に応じて随時実施した。</p> <p>防災マニュアルに則って、迅速に緊急事態に対応できるように全職員・園児を対象とする地震・竜巻・火災・防犯訓練を毎月実施した。帰宅困難者30名分の防災グッズを備蓄し災害に備えた。</p> <p>子供の日集会、交通安全指導、七夕集会、お泊り保育、夏祭り、運動会、さつまいも掘り、人形劇公演、遠足(成田ゆめ牧場)、おゆうぎ会、もちつき、クリスマス会、こま回し大会、凧揚げ、豆まき集会、縄跳び大会、ひな祭り集会、お別れ会を実施した。四季の行事を通して、園児が楽しみながら日本の伝統文化を体験できるよう行事内容を工夫した。</p> |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 園児募集               | <p>教育内容・教育方針が明確にわかる入園案内及び入園説明会用動画・HPを利用し、行事等の紹介を充実させた。</p> <p>入園説明会を9月に園で2回実施した。また、見学希望者については随時機会を設けた。</p>  |
| 施設設備               | <p>1階廊下・階段のタイルカーペットの張替え工事及び昇降口前柱の塗装工事を行い、保育環境を整備した。</p> <p>園児置き去り防止安全装置(送迎バス)の活用、登降園管理システムによる園児の出欠確認を行い、安心安全に努めた。</p>   |
| 運営・管理              | <p>学校自己点検評価・外部評価の実施した。</p> <p>役職別の研修を実施し、それぞれ高い意識を持って職務遂行ができた。</p>  |
| 保護者と教師の会・同窓会・地域活動等 | <p>卒園児健全育成事業行い、卒園児童に豊かな体験の機会を提供し、健全な成長を支援した。</p> <p>保護者(希望者)対象の給食試食会を兼ねた子育て支援懇親会及びバランスボール講習会を開催し、保護者の交流の場を提供した。</p> <p>2歳児親子教室・入園決定者への園庭開放を実施し、保護者の交流の場を作るとともに、園児募集基盤の確立した。</p> <p>市内中学校等の職場体験及び体験学習の受入れをし、園児と中学生の交流による双方の豊かな体験の機会を提供し協力することができた。</p> |